

2018年5月

# 組入銘柄のご紹介

ワールド・ビューティー・オープン

(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 株式

※本資料はワールド・ビューティー・オープンをご紹介するために概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

ワールド・ビューティー・オープンは、2017年7月31日に設定されて以降、日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業\*の株式への投資を通して、「美の追求をパフォーマンスの追求に」との考えに基づいて運用してまいりました。本資料では、2018年3月末時点の「美」の視点における代表的な組入銘柄をご紹介します。

\*ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、「人の美しさ」の向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。

## 株式組入上位10銘柄のご紹介

(2018年3月末時点:組入銘柄数:55(国内:20、外国:35))

順位	銘柄	“美”の視点	会社紹介 代表的な商品・サービスなど	国名	業種	比率(%)	
						為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
1	ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A (エスティローダー)	魅せる	化粧品メーカー。スキンケア、化粧品、香水、ヘアケア製品などを製造・販売する。 主なブランド:エスティローダー、M・A・C、クリニーク	アメリカ	生活必需品	7.75	7.78
2	資生堂	魅せる	化粧品・トイレタリーメーカー。各種メイクアップ・スキンケア製品のほか、トイレタリー、医薬品、食品、および精製化学製品を提供する。 主なブランド:マキアージュ、クレド・ポー ボーテ、インテグレート	日本	生活必需品	6.15	6.18
3	L'OREAL (ロレアル)	魅せる	ヘルスケア・美容品メーカー。化粧品やスキンケア製品、香水のほか、ヘアケア製品などを製造する。 主なブランド:ロレアル パリ、ランコム、メイベリン ニューヨーク	フランス	生活必需品	4.64	4.66
4	コーセー	魅せる	メイクアップおよびスキンケア、ヘアケア商品などの化粧品を製造・販売する。海外では香港、中国、シンガポール、マレーシアを中心に販売を行う。 主なブランド:コスメデコルテ、タルト	日本	生活必需品	4.64	4.66
5	BEIERSDORF AG (バイヤスドルフ)	磨く	パーソナルケア用品メーカー。主な製品はスキンケア・ヘアケア用品、包帯、弾性ストッキング、日焼け止めローションなど。 主なブランド:ニベア、Eucerin、La Prairieなど。	ドイツ	生活必需品	4.57	4.59
6	CRODA INTERNATIONAL PLC (クロダ・インターナショナル)	支える	化学品メーカーの持株会社。オレオケミカルと工業用化学品を含む、多くの化学品製造会社に投資する。パーソナル・ケアや医薬品、化粧品などのメーカーに製品を供給する。	イギリス	素材	3.76	3.77
7	ALIGN TECHNOLOGY INC (アライン・テクノロジー)	磨く	医療システム開発会社。歯科矯正装置「インビザライン・システム」の設計、製造、販売に従事。 透明で取り外し可能な装置を用いて段階的に歯列を矯正。	アメリカ	ヘルスケア	3.38	3.39
8	ポーラ・オルビスホールディングス	磨く	スキンケアを中心とした化粧品の開発、製造、販売を行う。マルチブランド戦略のもと高級スキンケアブランドのPOLA、オイルカットスキンケアブランドのORBIS、H2O PLUSなどのブランドを保有。	日本	生活必需品	3.27	3.28
9	花王	磨く	衣料・住居用洗剤やペットケア用品などの家庭用製品のほか、化粧品や油脂製品・界面活性剤などの産業用化学品も製造。 主なブランド:ソフィーナ、カネボウ、RMK	日本	生活必需品	2.90	2.91
10	GIVAUDAN-REG (ジボーダン)	支える	香料メーカー。天然・人工原料の香水・香料を製造・販売する。香水、飲料、調理済食品、消費者製品のメーカーを対象に製品を販売する。世界各地で事業を展開。	スイス	素材	2.89	2.90

◆GICS(世界産業分類基準)について:

Global Industry Classification Standard(“GICS”)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

・比率は純資産総額に対する割合です。・業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

・各銘柄の「“美”の視点」は、三菱UFJ国際投信がビューティー・ビジネス関連企業を代表的な商品・サービスを総合的に鑑みて独自の視点で分類したもので、今後変更となる場合があります。

・コメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。



## 人気が高まる 高級化粧品(プレステージ)

魅せる



## アジア(中国など)の需要が 成長を牽引

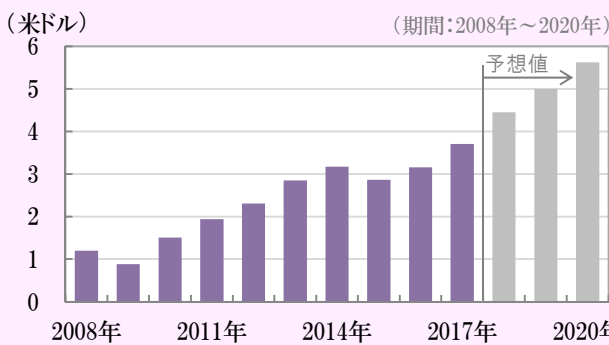
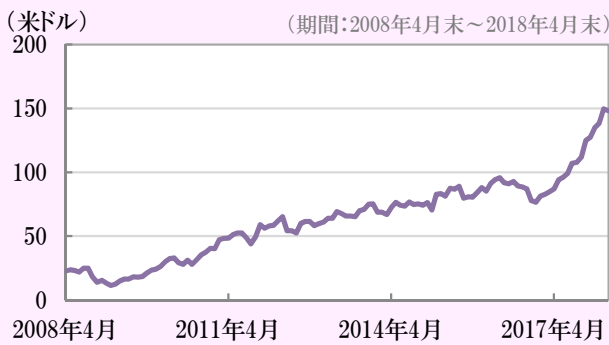
魅せる

### エスティローダー



同社の主要ブランドは、いずれも“高価格帯”に分類されており、高価格帯優位の状況等を背景に、売上高は増加、株価も堅調に推移しています。

#### 株価と一株当たり利益の推移



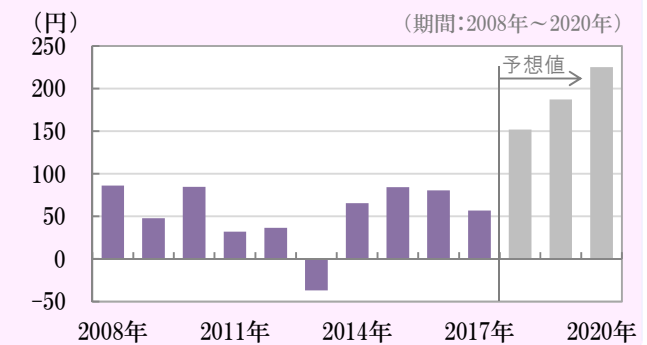
●一株当たり利益はBloombergによる各企業の会計年度ごと、2018年以降の予想一株当たり利益は2018年5月9日時点のBloomberg予想値です。  
(出所)Bloomberg、各企業HP等のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### 資生堂



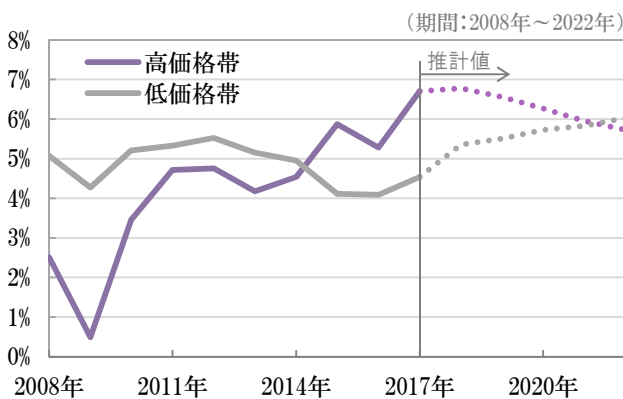
同社は中国、トラベルリテール(空港免税店など)の飛躍的な成長等から、2017年の業績は売上高、営業利益とも過去最高を更新し、日本国内企業の時価総額増加ランキングの第7位となりました。

#### 株価と一株当たり利益の推移



#### ご参考:化粧品・価格帯別の売上高伸び率の推移

化粧品市場では、売上高伸び率において高価格帯優位の動きが2019年頃まで続くと予想されています。

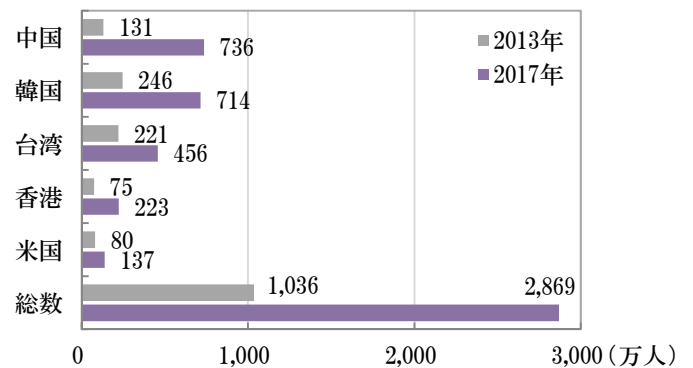


●ユーロモニター・インターナショナル(EMI)による分類「マス」「プレミアム」をそれぞれ「低価格帯」「高価格帯」としており、2018年以降はEMIの推計値です。

(出所)EMIのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

#### ご参考:訪日外国人(上位5カ国)の推移

安倍政権発足後(2013年)の訪日外国人数は約1千万人でしたが、観光政策の積極推進により2017年には約3千万人となり、1位の中国から4位の香港で約70%と、アジアから多数訪れています。



(出所)日本政府観光局のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

●上記は当ファンドの理解を深めていただくため、組入上位銘柄の中から、それぞれの“美”の視点における代表的な銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とする成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。



# 相対的に安定感の 高いスキンケア市場

磨く



# 美を支える 素材関連企業

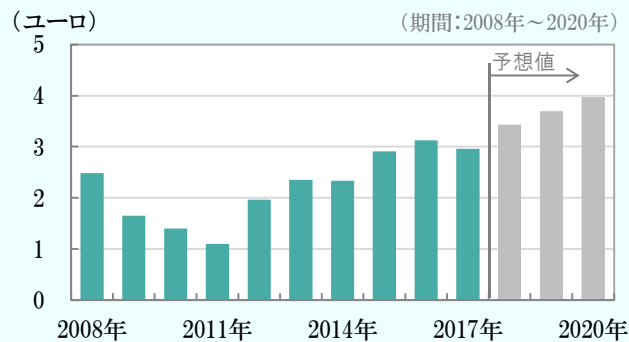
支える

## バイヤズドルフ



同社でブランド展開する“ニベア”および関連製品は、世界の全女性の約30%が使用、およそ200ヵ国で販売されています。現在、主要市場は欧州ですが、特に、ブラジル、中国、ロシアなどの成長市場に注力しています。

### 株価と一株当たり利益の推移



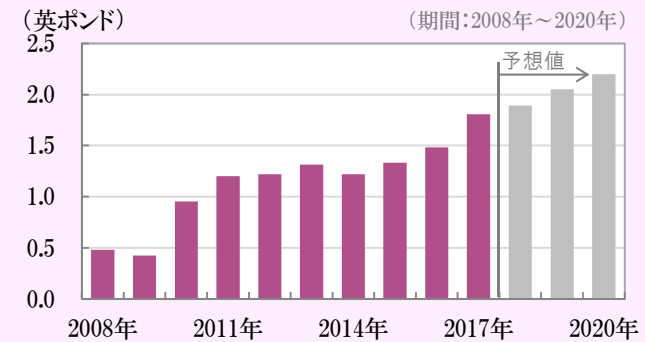
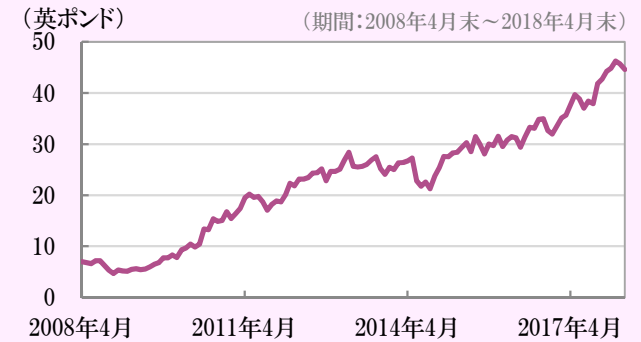
●一株当たり利益はBloombergによる各企業の会計年度ごと、2018年以降の予想一株当たり利益は2018年5月9日時点のBloomberg予想値です。  
(出所)Bloomberg、各企業HP等のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

## クロダ・インターナショナル



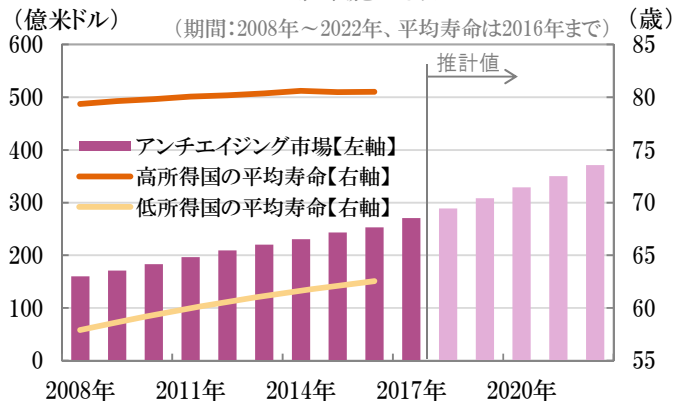
2017年、日本ではしわ改善化粧品の誕生が話題となりましたが、同社では20世紀末より、しわ改善のための成分“マトリキシル”を開発・製品化してきました。“マトリキシル”シリーズは進歩を続け、様々なアンチエイジング化粧品の原料として使われています。

### 株価と一株当たり利益の推移



## ご参考:世界のアンチエイジング市場\*と高・低所得国の平均寿命の推移

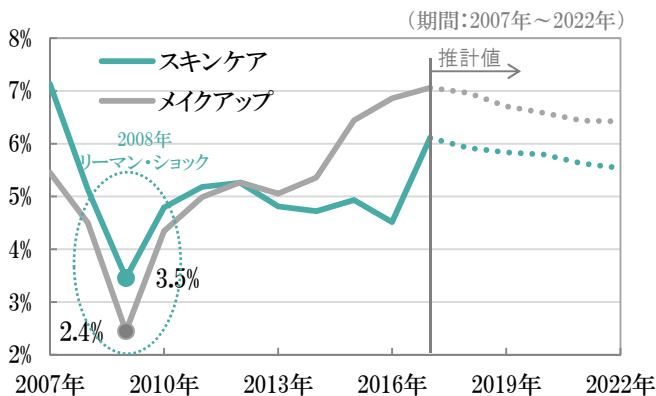
世界の高齢化の進展に伴い、アンチエイジング市場は今後も年6%程度の成長を続ける見込みです。\*アンチエイジング市場とは老化防止のための機能性商品等の市場をいいます。



●平均寿命の高所得国、低所得国はそれぞれ世界銀行の「High income」、「Low income」のデータを使用しており、アンチエイジング市場の2018年以降はEMIの推計値です。

## ご参考:世界のスキンケア/メイクアップ市場の伸び率の推移

2008年のリーマン・ショックといった世界景気が大きく後退した局面も乗り越え、スキンケア/メイクアップ市場は拡大を続けてきました。



●2018年以降はEMIの推計値です。

(出所)EMIのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

(出所)EMI、世界銀行のデータを基に三菱UFJ国際投信作成



# ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## ファンドの目的・特色

**ファンドの目的** 日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がりの利益の獲得をめざします。

### ファンドの特色

#### 特色1

日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式を主要投資対象とします。

- 当ファンドにおいて、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、「人の美しさ」の向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。
- ※実際の運用はワールド・ビューティー・マザーファンドを通じて行います。

#### 特色3

為替ヘッジの有無により、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)が選択できます。

- (為替ヘッジあり)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他通貨による代替ヘッジを行う場合があります。
- (為替ヘッジなし)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

#### 特色2

株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。

- 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行います。

#### 特色4

年2回の決算時(6・12月の各9日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象利益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 投資リスク

**基準価額の変動要因:** 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損

失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 <b>上限3.24%(税抜 3.00%)</b> 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。
換金時	信託財産留保額	<b>ありません。</b>

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.7712%(税抜 年率1.6400%)</b> をかけた額
保有期間中 その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についても各ファンドが負担します。 ・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

### <課税関係>

課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますので参照ください。

## 本資料に関するご注意事項等

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

商号 ●は(為替ヘッジあり)のみ取扱 ★は(為替ヘッジなし)のみ取扱	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○		
株式会社 阿波銀行●	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
岡三にかが証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○		
株式会社 沖繩銀行	登録金融機関	沖繩総合事務局長(登金)第1号	○		
カブドコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○		
株式会社 京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○		
株式会社 高知銀行★	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	○		
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○		
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
株式会社 十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		
株式会社 常陽銀行★	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第11号	○		
株式会社 大光銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第61号	○		
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
株式会社 福島銀行★	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
株式会社 北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		

## 設定・運用は

# 三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会